

地域づくり 北秋田市の3団体を表彰 「元気な大館・北秋田地域づくり活動顕彰事業」表彰式

令和3年度「元気な大館・北秋田地域づくり活動顕彰事業」表彰式が、12月2日に北秋田地域振興局で行われました。

この事業は、自主的・主体的に地域づくり活動を行っている団体または個人を表彰し、地域づくり活動に対する機運の醸成と普及・拡大を図ることを目的に平成19年から行われています。今回は、北秋田市で活動している、特定非営利活動法人北秋田ハッピーデリバリー（佐藤信子代表）、朗読ボランティアあかねグループ（奈良久枝代表）、有限会社長岐建設（長岐邦雄代表取締役社長）の3つの団体が選ばれ、審査報告と表彰状授与が行われました。



受賞報告 活動が評価され4個人1団体が受賞 令和3年度北秋田市老人クラブ連合会が報告

秋田県老人クラブ連合会の表彰受賞式にて、老人クラブの組織づくりや育成指導など功績があった個人団体が表彰され、市内老人クラブの関係者が12月3日に市役所を訪れて津谷市長に受賞報告を行いました。

津谷市長が「コロナ禍で活動が制限される中、会員や高齢者への声かけ等、率先して活動をしていただき感謝している。今後も健康に留意し、活動に力を入れてもらいたい」などと話し、受賞者を代表して知事表彰を受けた高橋忠俊さんは「高齢者が抱える諸課題解決に向け、より一層力を入れて活動し、受賞への恩返しをしていきたい」などと話しました。



創立記念 元校長3人が思い出を語る 合川小学校創立10周年記念講演会

北秋田市立合川小学校（武石祐子校長）の創立10周年記念講演会が、11月27日に同校体育館で行われました。

同校は、2012年に合川西小学校と合川南小学校が先行統合して開校し、2014年に現在の場所に新校舎が完成、そして2015年に合川東小学校、合川北小学校が統合しました。

この日は、5、6年生や保護者、学校運営協議会など約250人が参加し、「合川小学校 この10年…」のテーマのもと、合川小学校の校長を務められた三浦栄一さん、藤嶋勇人さん、村上光明さんが当時の思い出や、児童や保護者に期待することなどを語りました。

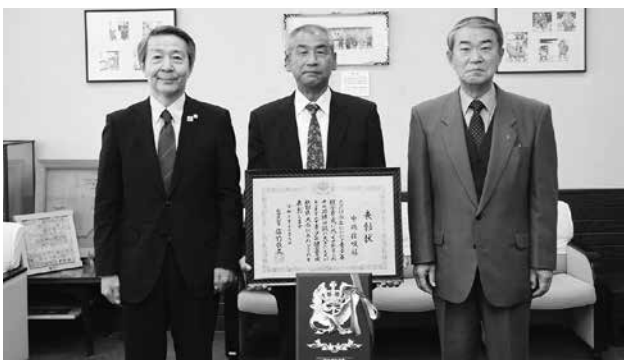


受賞報告 長年にわたり青少年育成に貢献 令和3年度秋田県知事表彰 受賞報告

青少年健全育成功労者として秋田県知事表彰を受賞した中嶋信咲さん（72歳・脇神）が、12月3日に青少年北秋田市民会議会長と市役所を訪れ津谷市長へ受賞報告を行いました。

中嶋さんは、青少年育成北秋田市民会議の事務局長として長きにわたって活動され、令和3年5月には県民会議会長表彰を受賞し、今回、県知事表彰の受賞となりました。

報告を受け津谷市長は「子どもたちが元気で過ごすことが地域の元気にもつながっている。皆さんの活動を見て育った子どもたちは、中嶋さんたちをお手本にして人のために動ける人に成長すると思う」などと話しました。



受賞報告 食生活改善に大きく貢献 厚生労働大臣表彰、秋田県知事表彰受賞報告

令和3年度栄養関係功労者として厚生労働大臣表彰を受賞した片岡嘉代子さん（77歳・上羽立）と、令和3年度環境・保健事業功労者秋田県知事表彰を受賞した近藤カチ子さん（80歳・小ヶ田）、佐藤由紀子さん（78歳・東根田）が市役所を訪れ、津谷市長へ受賞報告を行いました。

報告を受け津谷市長は「3人とも旧町時代から、地域住民の食生活改善のため長きにわたり活動し、行政の手が届かない細かな部分を担っていただいている。このような活動が評価され、今回の表彰につながったと思う。今後も健康に気をつけて地域のために活動してほしい」などと話しました。



贈呈 祭りを通じて地域を元気に ダイドーグループ「日本の祭り認定書」贈呈

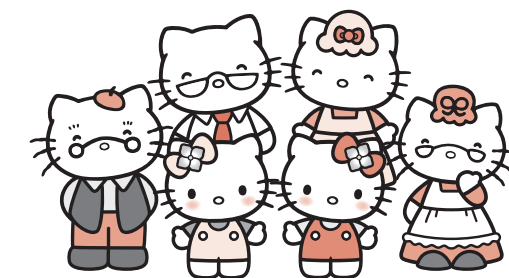
全国の祭りをテレビ番組にして発信している飲料メーカー「ダイドーグループ」の関係者が、11月25日に市役所を訪れ、津谷市長に「日本の祭り認定書」が贈られました。

ダイドーグループでは、2003年から「日本の祭りプロジェクト」をスタートさせ、全国各地の祭りを題材としたドキュメンタリー番組を放送しており、その中の一つに綴子神社例大祭が選ばれ、令和3年8月に番組が放送されました。

認定書を受け取り津谷市長は「番組のおかげで祭りの価値やふるさとの魅力・誇りを伝えることができた。今後も日本の祭りや歴史、伝統を発信してほしい」などと話しました。



市内のいろいろな出来事を紹介します



登録式典 地域の宝を未来に引き継ぐ 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録式典

文化庁による「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録式典が、11月22日に市役所（オンライン）で行われました。

同式典は、文化庁で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインでの開催となりました。

式典では、都倉俊一文化庁長官がお祝いの言葉を述べたほか、関係18道県市町の代表者からの一言があり、その中で津谷市長は「私たちは地域の宝であるこの遺跡を未来に引き継ぐため、保存と活用に全力で取り組んでいく。コロナ後には、多くの人に訪れてもらいたい」などと話しました。

